

2027年3月期 第1四半期

決算概要 単体

2026年8月6日

 筑波銀行
Tsukuba Bank

東証プライム:8338

決算サマリー	2
損益の状況	3
コア業務純益の推移	4
貸出金の状況	5
預金・預り資産の状況	6
有価証券の状況	7
不良債権の状況	8
与信関係費用の状況	9
経費・コアOHRの状況	10
自己資本比率・ROEの状況	11
業績予想	12

* 銀行単体の数値をもとに作成しています。

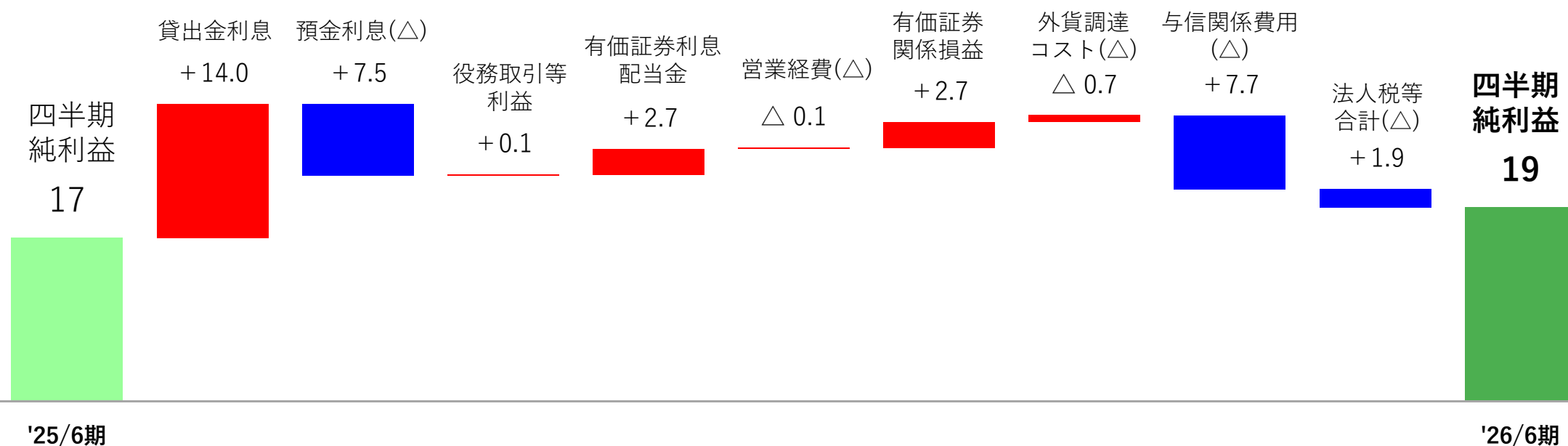
	2026年6月期	前年同期比	増減率	通期業績予想* に対する進捗率
経常収益	149億円	+ 34億円	29.7%	—
経常利益	24億円	+ 4億円	23.3%	32.3%
四半期純利益	19億円	+ 2億円	16.2%	30.2%

* P.12「業績予想」に記載

四半期純利益の増減要因 (億円)

増益要因

減益要因



損益の状況 単体

(単位：百万円)	2025年6月期	2026年6月期	前年同期比	増減率
業務粗利益	7,260	6,445	△ 814	△ 11.2%
(除く国債等債券損益)	8,012	8,882	+ 869	
資金利益	6,845	7,702	+ 856	
うち貸出金利息	6,580	7,981	+ 1,400	
うち有価証券利息配当金	1,165	1,445	+ 279	
うち預け金利息	277	273	△ 4	
うち預金利息(△)	1,089	1,846	+ 757	
役務取引等利益	1,071	1,091	+ 19	
その他業務利益	△ 657	△ 2,348	△ 1,690	
うち国債等債券損益	△ 751	△ 2,436	△ 1,684	
経費(除く臨時処理分)(△)	5,991	6,160	+ 168	
実質業務純益	1,268	285	△ 983	
コア業務純益	2,020	2,721	+ 701	34.7%
(除く投資信託解約損益)	1,928	2,723	+ 794	
一般貸倒引当金繰入額(△)①	—	△ 11	△ 11	
業務純益	1,268	296	△ 971	
臨時損益	724	2,161	+ 1,436	
うち株式等関係損益	222	2,185	+ 1,963	
うち不良債権処理額(△)②	△ 393	393	+ 786	
経常利益	1,992	2,458	+ 465	23.3%
特別損益	△ 8	△ 1	+ 6	
税引前四半期純利益	1,984	2,456	+ 472	
法人税等合計(△)	268	461	+ 193	
四半期純利益	1,715	1,994	+ 278	16.2%
与信関係費用 ① + ②	△ 393	382	+ 775	

決算のポイント

業務粗利益 64億円 (前年同期比 △ 8億円)
コア業務純益 27億円 (前年同期比 + 7億円)

- ・ 資金利益の増加
 - ✓ 貸出金利息は、貸出金利回りの上昇や残高増加により増加
 - ✓ 有価証券利息配当金は、国内債券を中心に有価証券利回りが上昇したことにより増加
 - ✓ 預金利息は、預金金利の引上げに伴い増加
- ・ 役務取引等利益の増加
- ・ その他業務利益の減少
 - ✓ 国債等債券売却損は、国内債券のロスカットに伴い増加

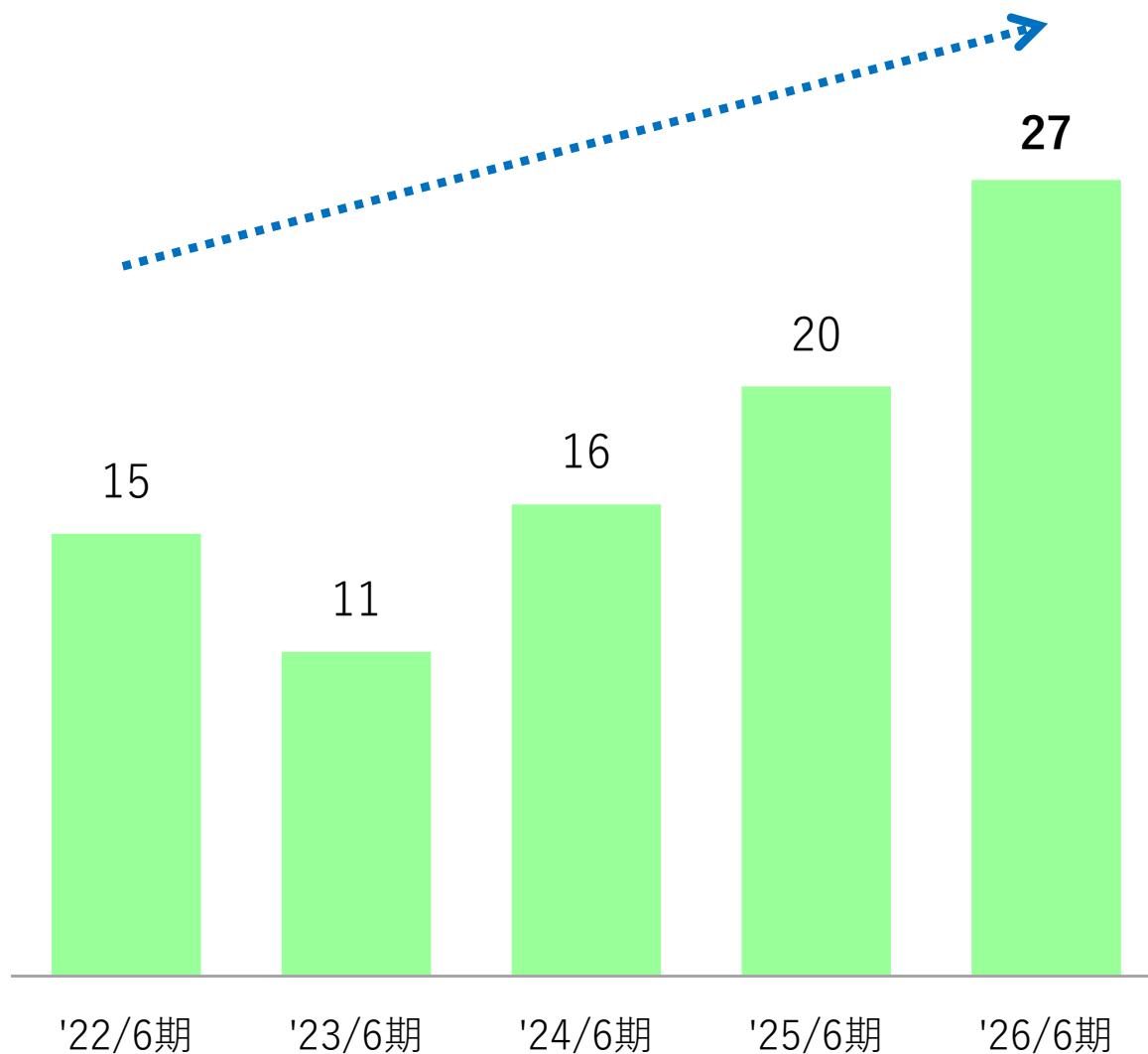
経常利益 24億円 (前年同期比 + 4億円)

- ・ 資金利益の増加
- ・ 与信関係費用の増加
- ・ 臨時損益の増加
 - ✓ 株式等関係損益の増加

四半期純利益 19億円 (前年同期比 + 2億円)

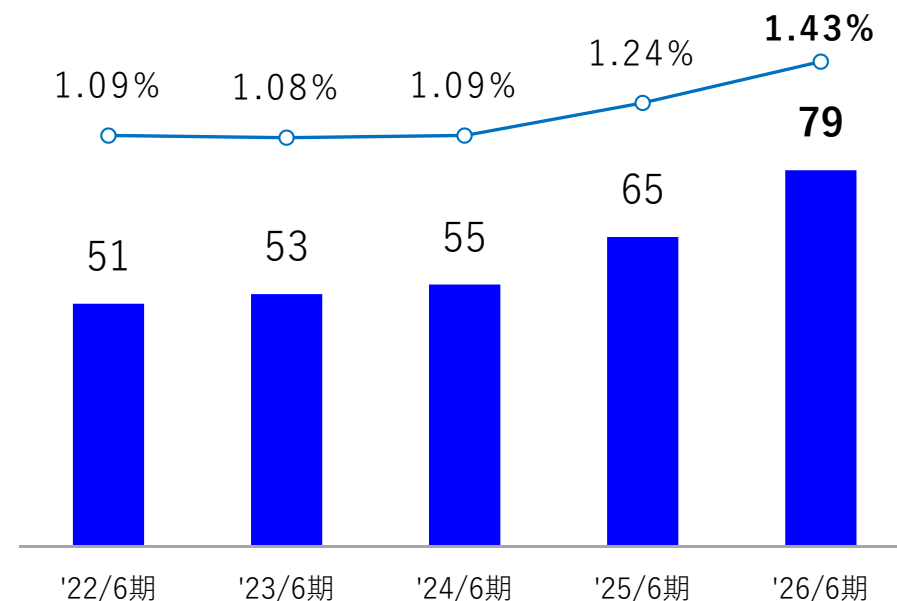
コア業務純益の推移 単体

コア業務純益^{*} (億円)

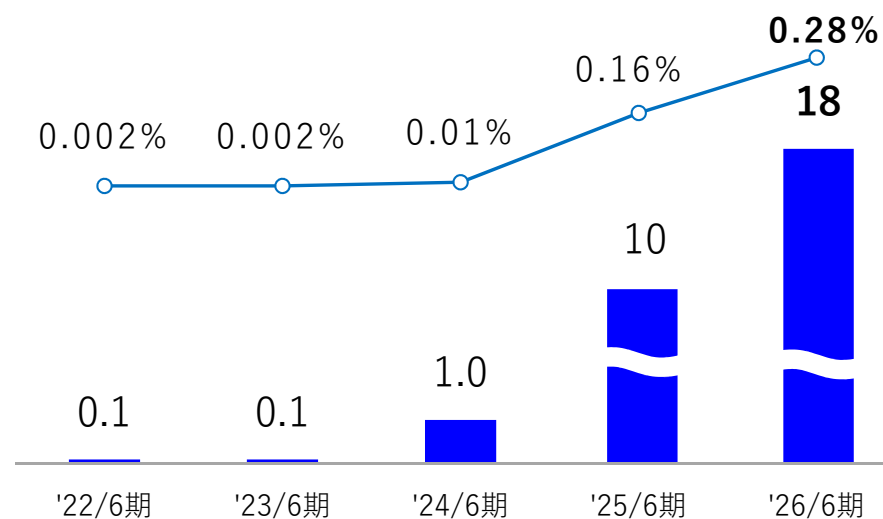


* 「コア業務純益」… 業務粗利益－経費－国債等債券損益

貸出金利息・貸出金利回り (億円)



預金利息・預金金利回り (億円)

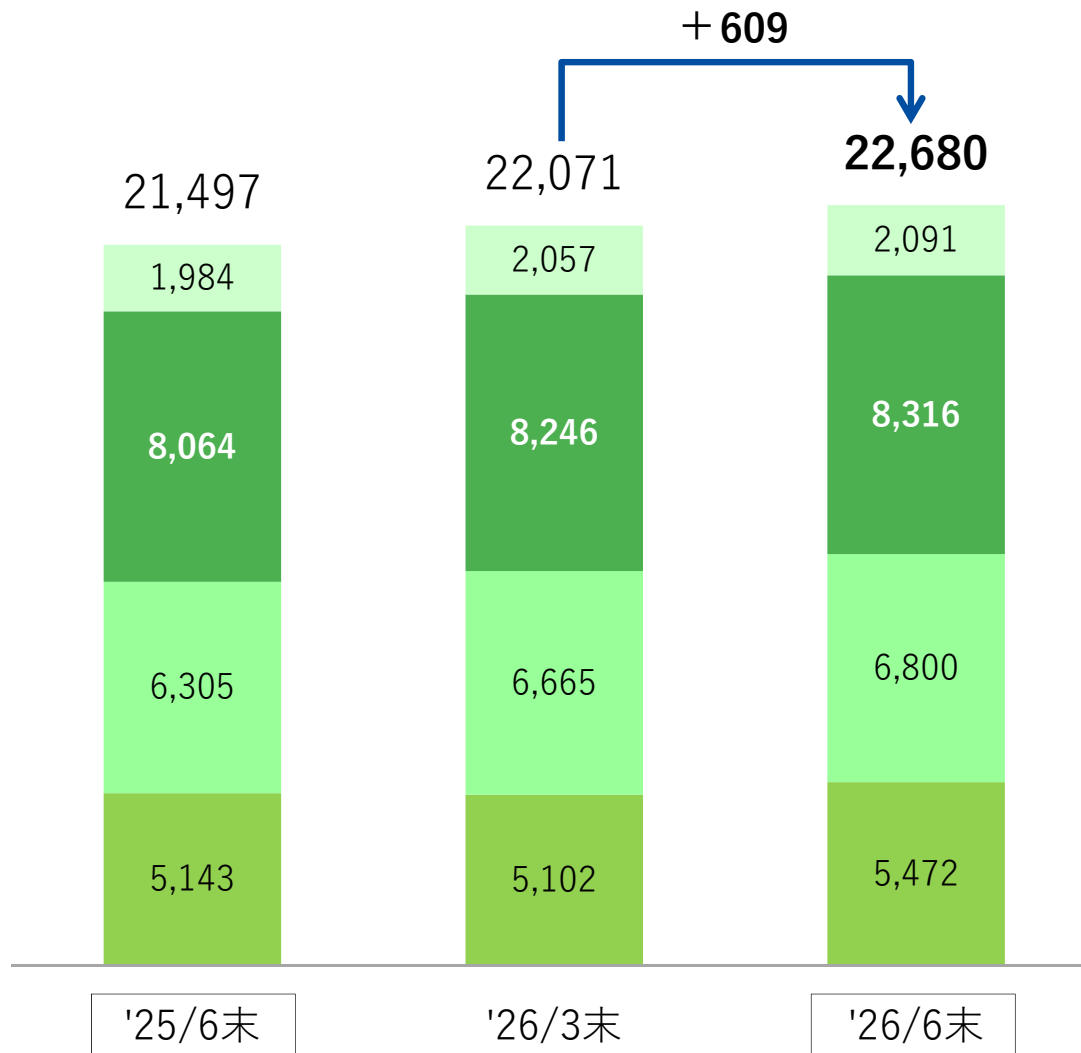


貸出金の状況 単体

	2026年6月末	前年度末比	増減率	主な増減要因
貸出金	22,680 億円	+ 609 億円	2.7 %	 地公体向け貸出、住宅ローンの増加

貸出金残高

(億円)



前年度末比

大中堅企業 + 33 (1.6%)

中小企業 + 69 (0.8%)

個人ローン
(住宅ローン等) + 134 (2.0%)

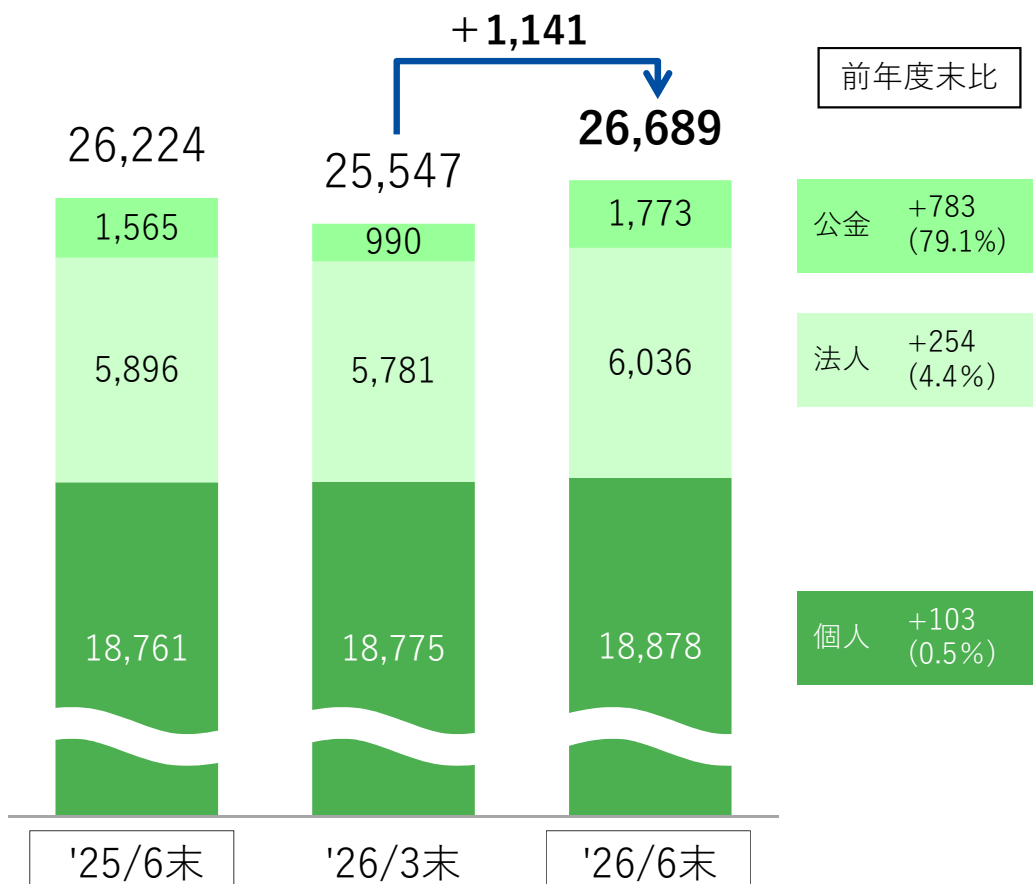
地方公共団体
その他 + 370 (7.2%)

預金・預り資産の状況 単体

	2026年6月末	前年度末比	増減率	主な増減要因
預金	26,689億円	+ 1,141億円	4.4%	↑ 公金、法人預金の増加
預り資産	4,696億円	+ 440億円	10.3%	↑ 投資信託、公共債の増加
預金 + 預り資産	31,385億円	+ 1,582億円	5.3%	↑ 預金、預り資産残高の増加

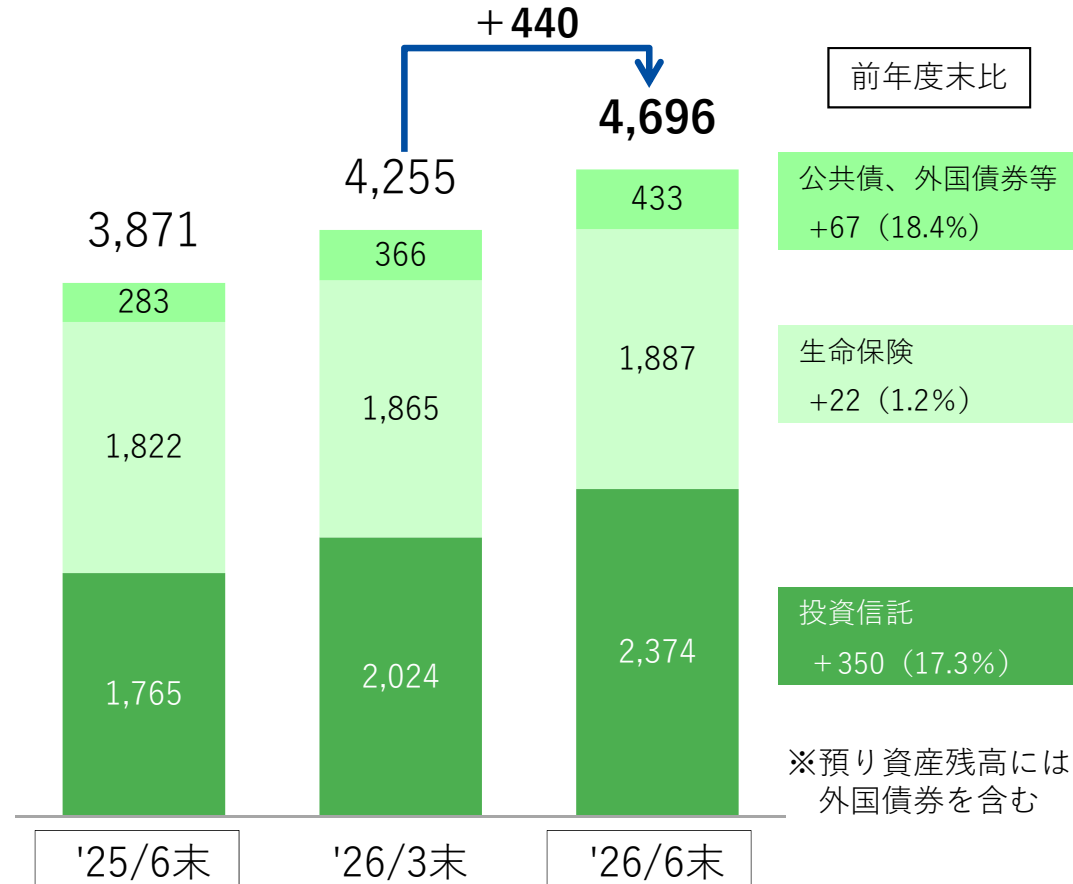
預金残高

(億円)



預り資産残高

(億円)

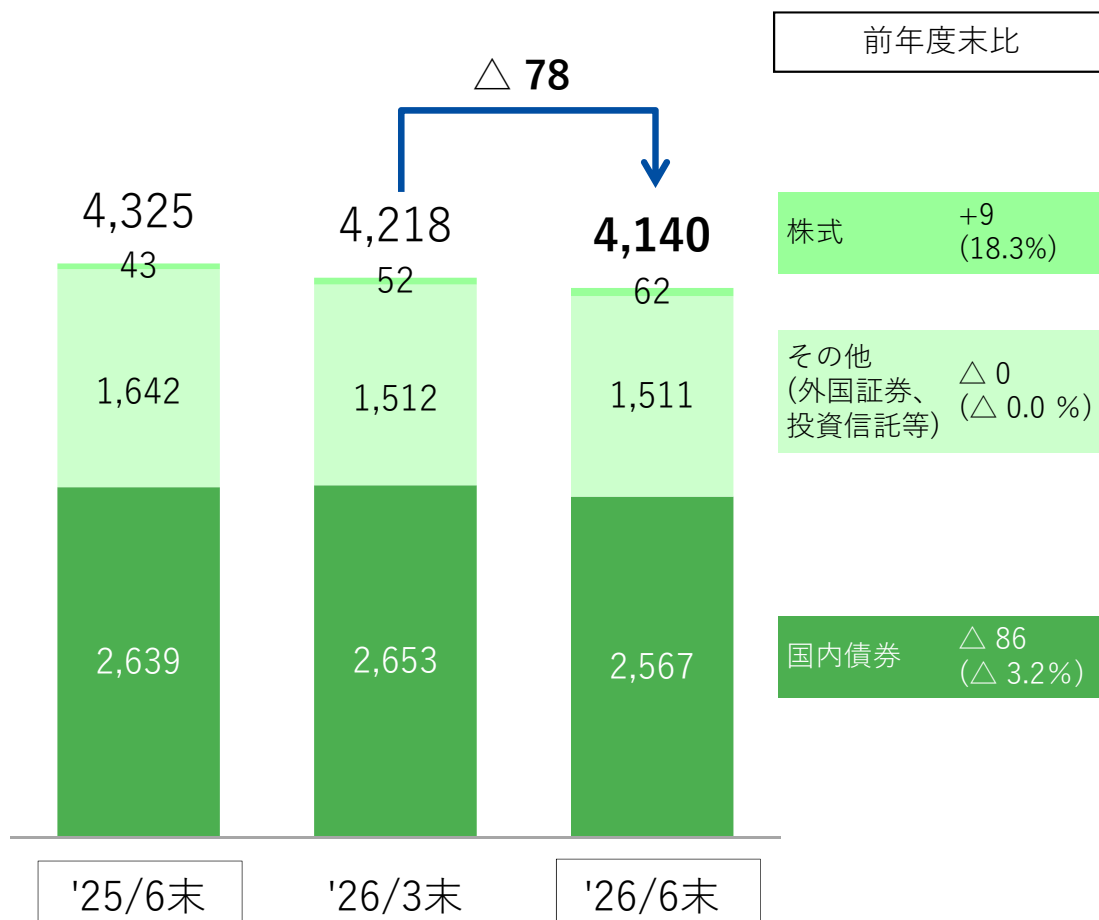


有価証券の状況 単体

	2026年6月末	前年度末比	主な増減要因
有価証券	4,140 億円	△ 78億円	国内債券の減少
その他有価証券評価損益	△ 257 億円	+ 40億円	投資信託の評価損減少

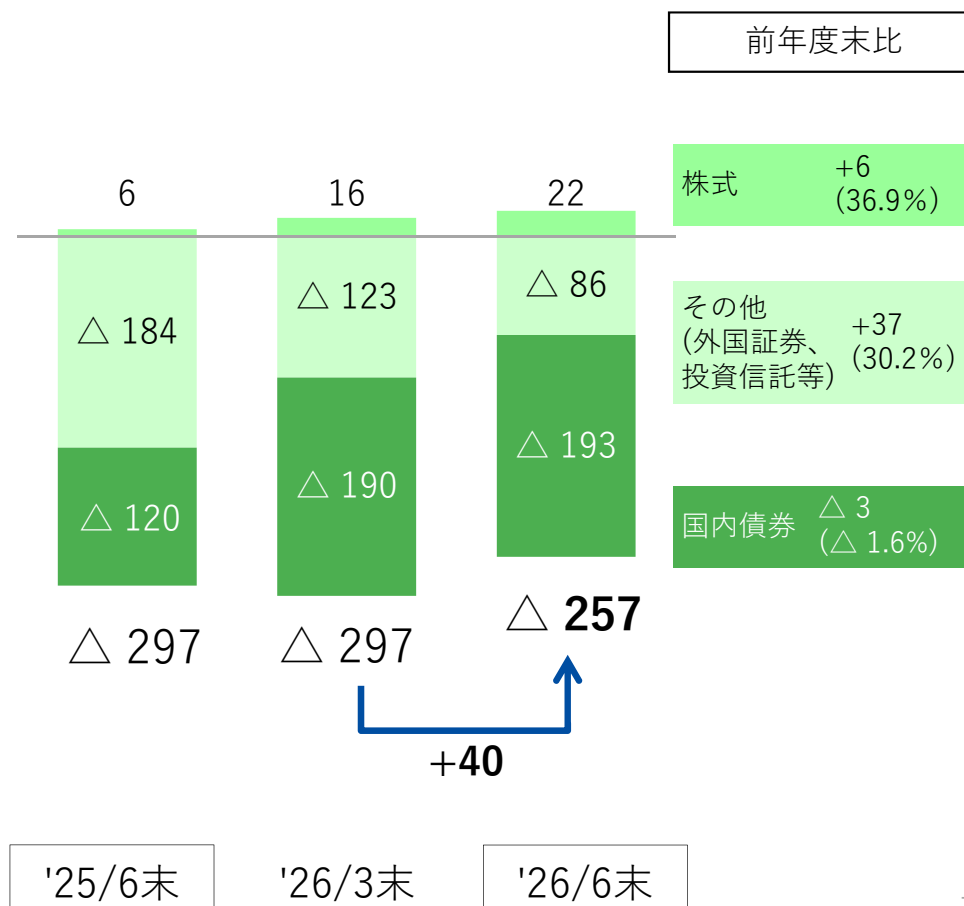
有価証券残高

(億円)



その他有価証券評価損益

(億円)

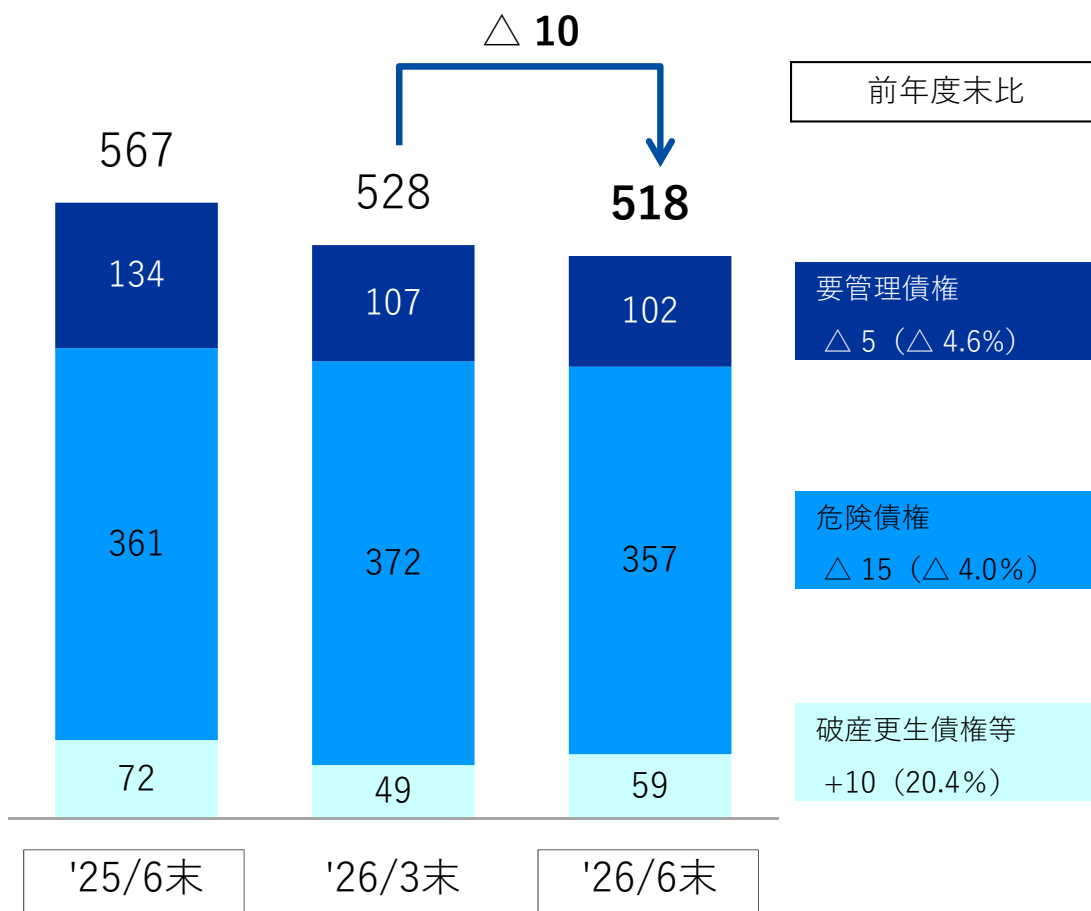


不良債権の状況 単体

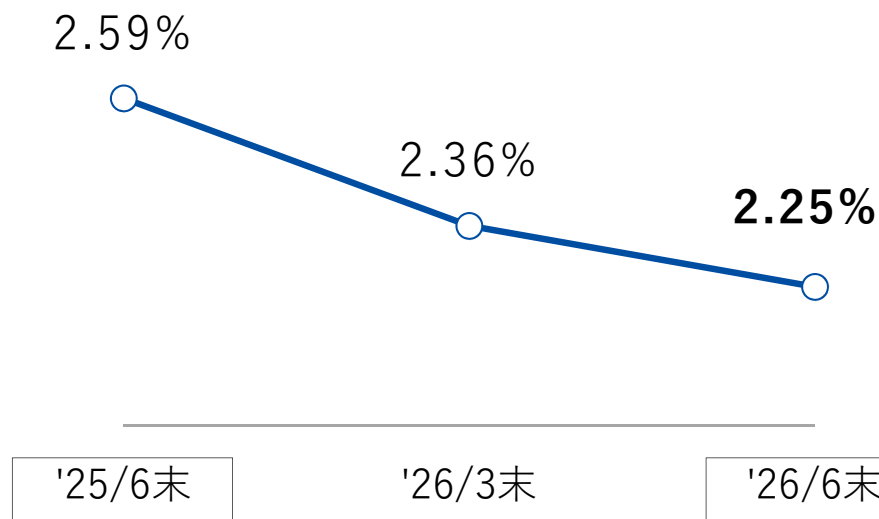
	2026年6月末	前年度末比	主な増減要因
金融再生法開示債権	518億円	△ 10億円	↓ 危険債権・要管理債権の減少
不良債権比率	2.25%	△ 0.11%	↓ 金融再生法開示債権の減少

金融再生法開示債権残高

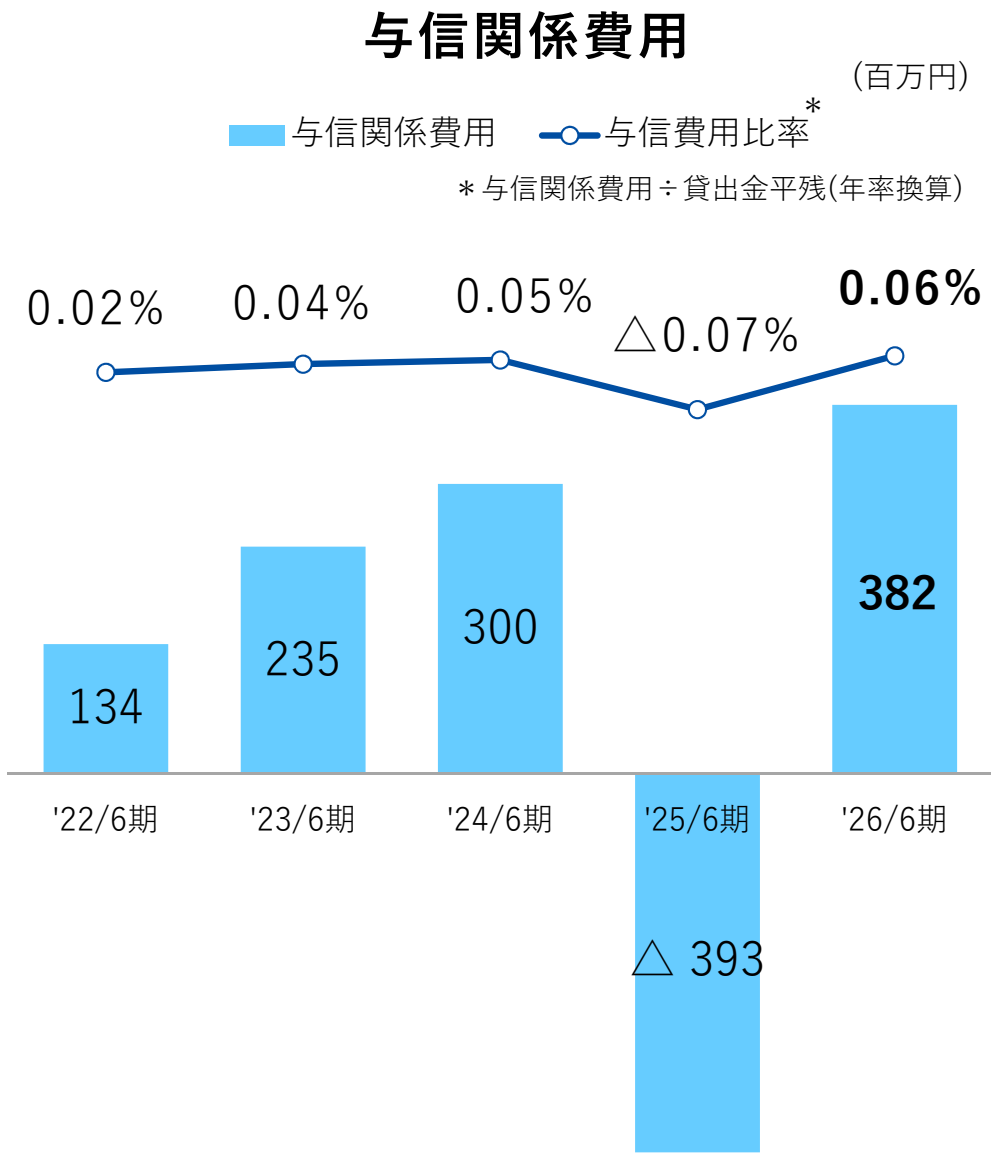
(億円)



不良債権比率



与信関係費用の状況 単体



	2025年 6月期	2026年 6月期	前年 同期比
与信関係費用 ① + ②	△ 393	382	+775
一般貸倒引当金繰入額 ①	—	△ 11	△ 11
不良債権処理額 ③ - ④ - ⑤ ②	△ 393	393	786
不良債権処理費用 ③	282	440	+158
貸出金償却	192	179	△ 12
個別貸倒引当金繰入額	—	206	+206
債権売却損	—	△ 0	△ 0
偶発損失引当金繰入額	△ 0	△ 8	△ 7
保証協会責任共有制度 負担金	90	62	△ 27
貸倒引当金戻入益(△) ④	621	—	△ 621
償却債権取立益(△) ⑤	53	47	△ 6

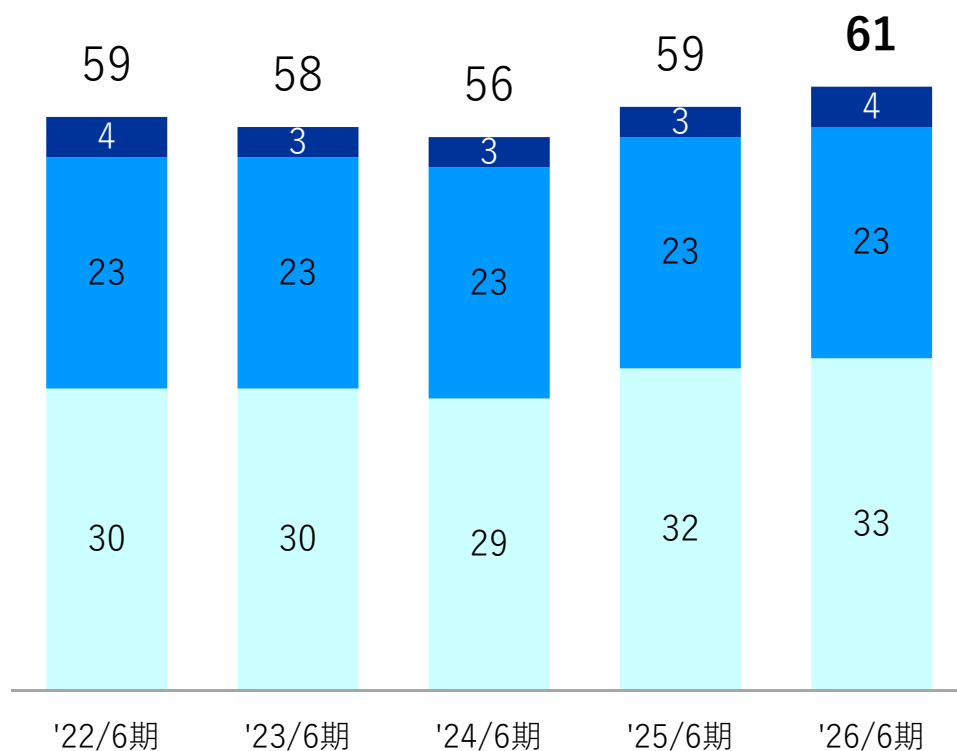
経費・コアOHRの状況 単体

	2026年6月期	前年同期比	主な増減要因
経費	61億円	+ 1億円	賃上げに伴う人件費の増加
コアOHR*	69.35%	△5.43%	貸出金利息の増加を主因とした資金利益の増加

経費

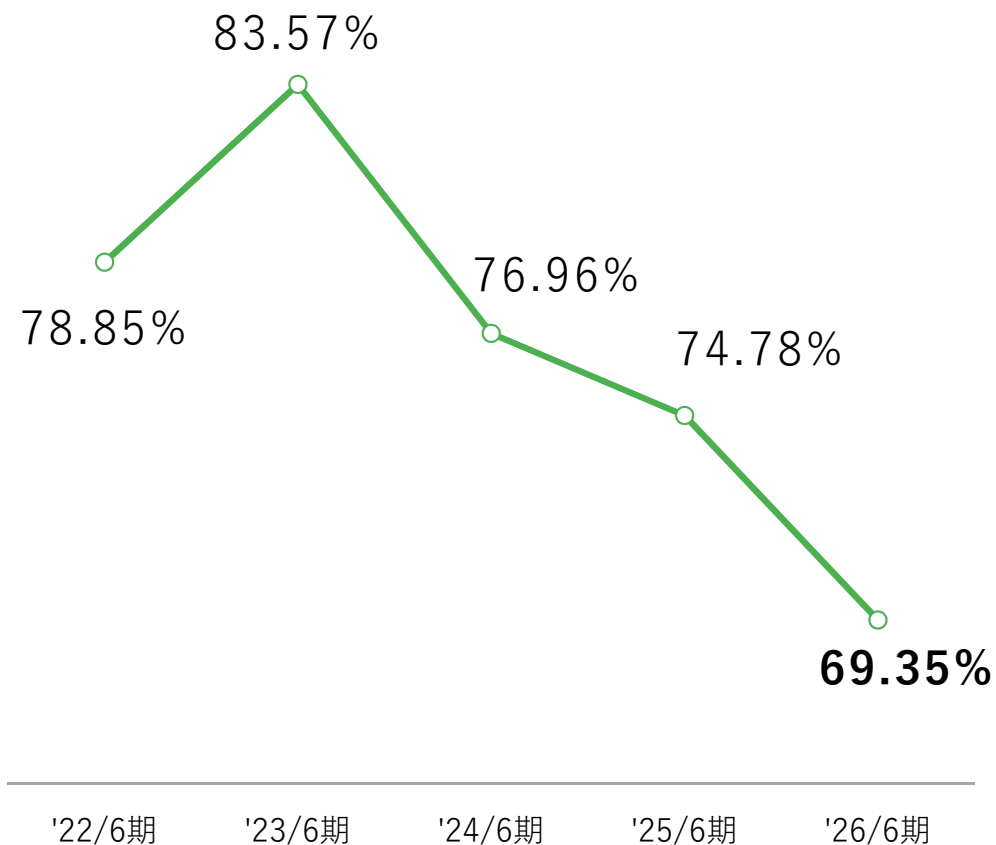
(億円)

■ 人件費 ■ 物件費 ■ 税金



コアOHR*

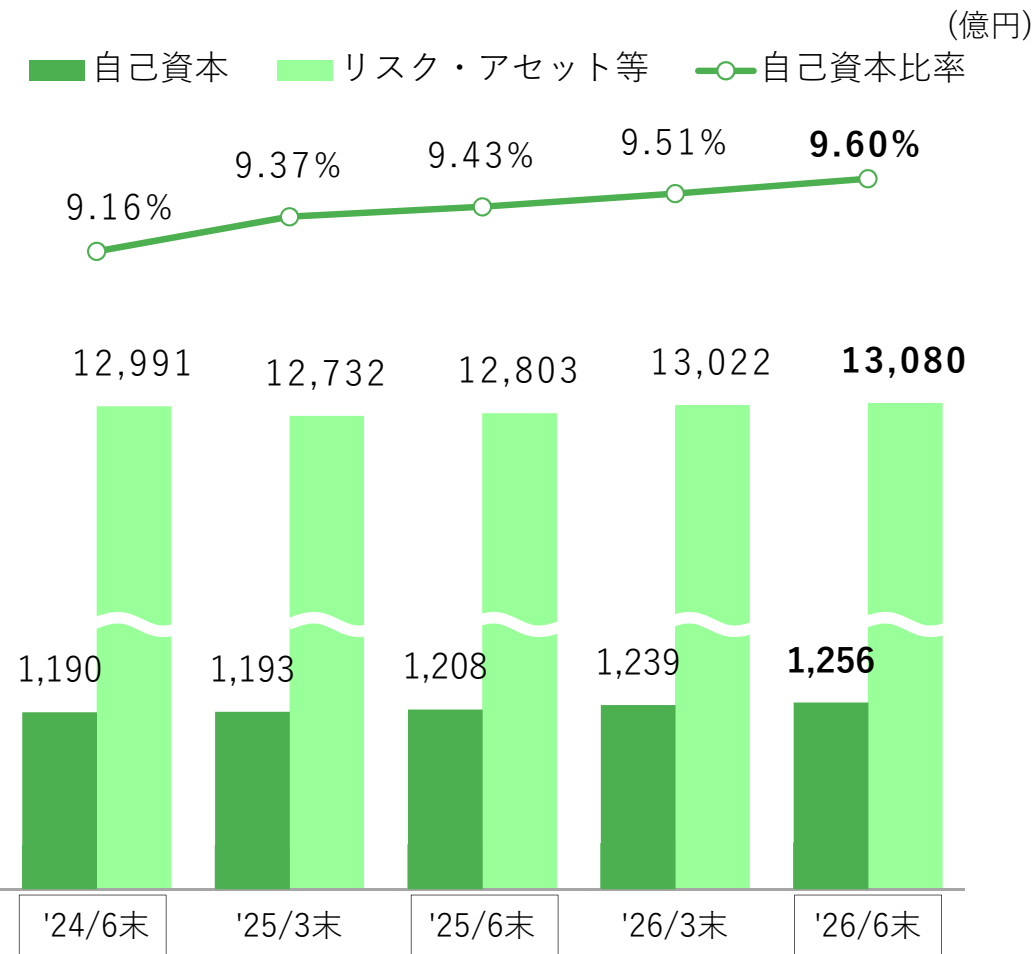
* 経費 ÷ (業務粗利益 - 国債等債券損益)



自己資本比率・ROEの状況 単体

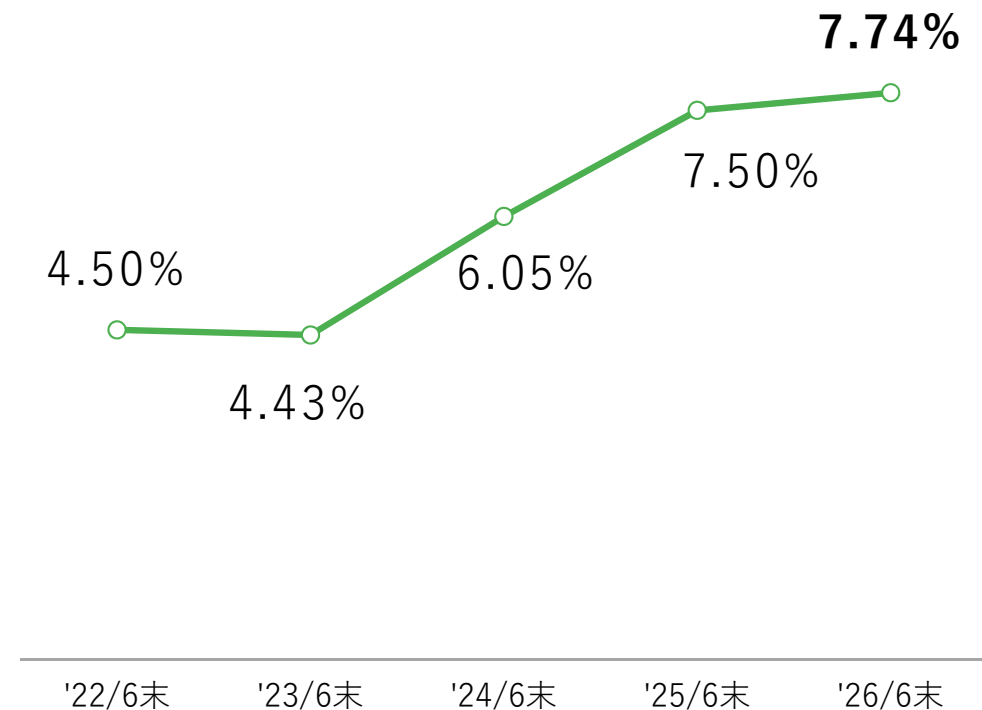
	2026年6月末	前年度末比／前年同期比	主な増減要因
自己資本比率	9.60%	+ 0.09%	↑ 四半期純利益の計上に伴う自己資本の増加
ROE	7.74%	+ 0.24%	↑ 四半期純利益の増加

自己資本比率



ROE^{*}

* 四半期純利益 ÷ {(期首自己資本 + 期末自己資本) ÷ 2} (年率換算)

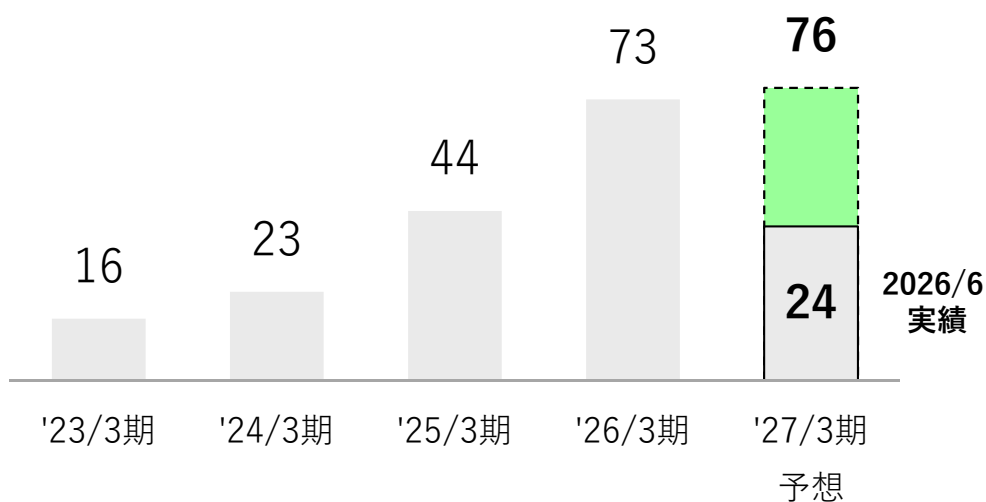


2026年5月12日公表

	2027年3月期 通期予想	2027年3月期 第1四半期実績	通期業績予想に 対する進捗率
経常利益	76億円	24億円	32.3%
当期(四半期)純利益	66億円	19億円	30.2%

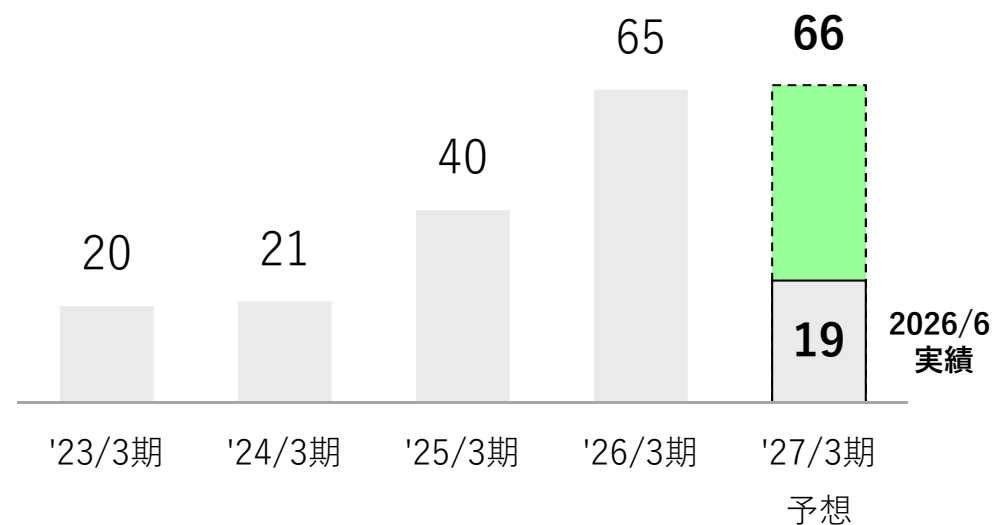
経常利益

(億円)



当期純利益

(億円)



- ・本資料には将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等により実際の数値と異なる可能性があることにご留意ください。